



校長室の窓から

座間市立東原小学校（電話253-3145）

東原小キャラクター「かめっち」

暑さの厳しい2学期の始まりでしたが、やっと秋らしさを感じるようになりました。校庭で外遊びを楽しむことができる日には、授業終わりと同時に教室を飛び出し、校庭に大急ぎで向かう姿を見かけます。

いよいよ運動会の練習が始まります。6年生には修学旅行が近づいています。充実した取組、より良い思い出となるように職員一同で力を尽くしていきたいと思っています。



「感謝と笑顔のにじをかがやかせよう みんながハッピー東原」

こちらは、東原小学校児童会のスローガンです。2学期は、スローガンに向けた取組が始まりました。

うれしかったことや「ありがとう。」と言われたことなどを「東原ハッピーカード」に書いていく取組です。このカードは、学年ごとに色分けされています。1～6年生の6色と教職員・保護者・地域のみなさんの1色で計7色あります。投函されたカードを色ごとに掲示していくと、上の写真のように7色のにじになっていきます。この7色のにじに書かれた幸せをクラスや学校で紹介していく中で、自分では気づいていなかつたけれど、「確かに、こんなことも幸せだな！」「自分もあのときうれしかったんだ！」などと小さな幸せを感じていけることを目指しています。大きなことだけでなく、日常の小さな幸せを感じることができ、日常がより楽しく思えたり、輝いて感じられたりするといいと思います。

まだ始まったばかりなのに、あいさつを返してくれたこと、～を拾ってくれたこと、外で遊べたことなど、日常の中での小さな幸せがたくさん掲示されています。読んでいると、心がほっこり温かくなります。「先生がどうしても残ったスープを飲んでくれた。」という微笑ましいものもありました。給食を残さないようにしようと思っているクラスの雰囲気、頑張って食べたけれどもどうしても残ってしまった…という状況が目に浮かびます。先生が救世主だったのでしょうね。

教職員からも、子どもたちの挨拶や笑顔などについて、幸せがたくさん掲示されています。私も改めて、毎日の生活や自分の周りに「こんなに幸せがあるんだ！」と思うことができました。保護者のみなさんも、ご来校の際にぜひハッピーカードを投函してください。